

心豊かにたくましく、自ら学び続ける児童の育成

め ざ す 児 童 像	「生きる力」(知・徳・体のバランス)を育む
	○すすんで考える子(知)・・・基礎・基本の定着、個に応じた指導の推進
	○心豊かな子(徳)・・・感謝と思いやりを伝える言葉使いの奨励、内面理解に基づく生徒指導の推進
	○強くたくましい子(体)・・・保健指導の徹底と健康教育の充実、安全指導の徹底
研 究 テ ー マ	学びをつなぎ、学びを深める子どもの育成 ～「個別最適な学び」の充実を目指して～

自己評価評価基準

A:4ポイント B:3ポイント C:2ポイント D:1ポイントとし、合計ポイント $\geq 3 \times$ 項目数+項目数の場合A
A:4ポイント B:3ポイント C:2ポイント D:1ポイントとし、 $3 \times$ 項目数-項目数 $\leq$ 合計ポイント $< 3 \times$ 項目数+項目数の場合B
A:4ポイント B:3ポイント C:2ポイント D:1ポイントとし、 $2 \times$ 項目数-項目数 $\leq$ 合計ポイント $< 2 \times$ 項目数+項目数の場合C
A:4ポイント B:3ポイント C:2ポイント D:1ポイントとし、合計ポイント $< 2 \times$ 項目数-項目数の場合D

領域	評価項目		保 護 者	学 校	自 己 評 価	改善の方策	学校関係者ご意見	評価
すす ん で 考 え る 子	1	基礎・基本(読み・書き・計算)の定着	B	A	B	・PTAによる図書ボランティアの協力を求め、校内外の資源の有効活用を行い、読書環境の充実を図る。 ・ICTの活用及び情報教育の状況等について、保護者への情報発信の充実を図る。 ・クロームブックの利用ルールを含め、児童への情報リテラシーの充実を図る。	・4年生の連絡帳がクロームになっているのが今時で、パソコンに触れる喜びから自ら忘れ物を減らせていると思う。 ・読書に関して工夫を必要である。家庭の環境が大切である。保護者自身が見本になるべきである。 ・空き時間に自ら本を読む習慣づくりが必要である。 ・読書活動の充実を読む力を育てるうえで重要な課題である。	B
	2	読書活動の充実	D	A				
	3	情報教育の推進	C	A				
心 豊 か な 子	4	友達の良さを認め合う体験活動の実践	/	A	A	・児童会を中心とした「縦割り班活動」を充実させ、友達と触れ合う楽しさを感じさせる機会を増やす。 ・「あいさつ運動」や正しい言葉遣いについての指導を徹底し、自分から挨拶をし、相手を思いやった言葉がけができる指導を実践し、望ましい人間関係作りを推進する。	・恥ずかしさからあいさつできない子もちらほら居ると思われる。 ・読書同様に親や周囲が見本を示すべきである。 ・「あいさつ」がまだまだ不十分だと思う。 ・「縦割り班活動」で思いやり、あこがれ、人との接し方などを経験し、将来社会で生きていくときに必要なことを身につけるものと思うので継続して進めて欲しい。	B
	5	自他の命や人権を大切にしたい思いやりのある学級づくり	A	A				
	6	正しい言葉遣	B	A				
	7	「あいさつ」の実践	C	A				
強 く た く ま し い 子	8	体力作り	B	A	A	・休み時間に体育委員会主体のなわとび検定や鉄棒教室などを行い、積極的に体を動かす活動を増やす。 ・外部機関とも連携し、自ら考えて行動できる、生きた防災教育を実施する。	・習い事で遊べない子どもも多いと思う。自分の携帯でYou Tube優先の子も多いと思う。 ・最近自然災害が多くなってきたので、学習に支障がない程度に、避難訓練の回数を増やし、「自分のことは自分でする」を意識し、訓練できるようになればと思う。	A
	9	登下校時の安全指導	A	A				
	10	健康・安全教育の推進	B	A				
	11	規範意識の育成	B	A				
	12	不審者などへの対応・防災教育	B	A				
指 導 の 連 携	13	基本的な生活習慣(「早寝・早起き・朝ごはん」「忘れ物がない」等)の確立	B	A	A	・『元気アップ週間』を活用し、『早寝・早起き・朝ごはん』の推進を図る。 ・クロームブックを活用して、簡易な「心のアンケート」の実施頻度を増やし、児童の内面理解やいじめ等困り感の早期発見と早期解決に努める。	・児童アンケートNo.15、NO.17において、あまり、いいえという回答がそれぞれ23%、14%とある。先生がこの子どもたちの信頼関係をいかに構築するかが大きな課題であると思う。 ・対象ことのアンケート結果に乖離が大きいため、アンケート内容の検討も必要である。 ・あいさつの習慣化が必要である。	A
	14	子ども同士のコミュニケーションを重視した指導	/	A				
	15	相談しやすい体制づくり	B	A				
	16	学校からの情報発信	A	A				
	17	児童の内面理解・関係機関と連携した児童の健全育成	/	A				
教 員 の 資 質 向 上	18	清掃指導・学習環境整備	D	A	B	・外部講師を招聘した校内研修を計画的に実施するために、業務の精選を行い、研修時間の確保に務める。 ・行事等について、その意義や効果、職員の負担や実施時期などを考慮して、さらなる行事の精選や教育課程の再編成を工夫して進めていく。	・担任の先生の人間性や教育観がクラス運営に大きく影響していくものと思う。共に悩み、考え、喜び合える、そして、時には失敗談も話してやっていただければと思う。 ・教職員の業務改善の視点から、令和7年度の校時表などのスリム化も検討が必要になる。	B
	19	協同的探究学習を核とした学習指導の充実	B	A				
	20	個に応じたきめ細やかな指導	/	A				
	21	行事の精選・会議のスリム化・勤務時間の適正化	/	A				

その他意見

- ・教職員の自己評価がオールAは非常に素晴らしいと思います。問題意識の欠如につながらないよう日々の努力を期待します。
- ・保護者と教職員とで評価の乖離がある部分については、評価・検証を行ってほしい。
- ・5・6年生でも東神吉南小学校と交流の機会があればよい。